

平成21年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

2目 文化財保護費

文化財課（内線：7525）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
情報発信「鳥取県の文化財」	10,325	10,475	△150				10,325	
トータルコスト	25,238千円（前年度 22,807千円）							
従事する職員数	正職員： 1.80人、臨時的任用職員 0.10人							
主な業務内容	文化財巡り、バスツアー、ガイドブック作成、指定文化財の開設板設置、新規指定文化財の展示会、建造物パネル展の開催、シンポジウムの開催、文化財主事による出前講演等の情報発信を行う。							

事業内容の説明

1 事業の概要

県民に文化財に関する情報を積極的に発信することにより、鳥取県の歴史や文化について認識を深めてもらうとともに、文化財に親しみをもち、その重要性を認識してもらい、文化財を大切にする気運を高めることを目的とする。県外にも広く情報発信する。

2 平成21年度事業費

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
文化財巡り	7,116	<ul style="list-style-type: none"> ○「とっとり文化財ウィーク（仮称）」 市町村や所有者等と連携し、秋頃に県内各所の文化財を一斉公開し、多くの文化財に触れる機会を提供。 ○遺跡巡りバスツアー 中世城館巡り、近代遺跡巡り、山陰史跡巡りとしてテーマ別に文化財を探訪する機会を提供。 ○史跡ガイドブックの刊行 島根県との連携事業で、山陰両県の史跡探訪用ガイドブックを作成。 ○文化財紹介リーフレットの刊行 地域学習にも活用できる、身近な文化財を散策するためのリーフレットを作成。 ○国・県指定文化財の解説板の設置 ○史跡ネットワーク会議 島根県と連携し、史跡の有効活用を検討するための意見交換会。
展示会	1,867	<ul style="list-style-type: none"> ○新規指定文化財の展示会 ○建造物パネル展 近代建造物や登録文化財制度を写真、解説パネルで紹介
講演会・シンポジウム	1,342	<ul style="list-style-type: none"> ○中世城館シンポジウム これまでの調査成果に基づく学術的評価を県民に紹介 ○近代建造物の調査報告会 これまでの調査成果を調査担当者等が分かりやすく解説 ○文化財主事による出前講演 市民セミナーや公民館など生涯学習の場での出前講演
計	10,325	